

# 沿 革



# 北 広 島 消 防 の 歴 史

## 私設消防時代

- 大正 2年 5月 広島村初の火防組合が結成された。
- 大正 7年 3月 火防組合が解散し、これに代わり私設消防組が発足。  
消火資器材として、トビ、布袋等を使用したと伝えられる。
- 昭和 9年 7月 消防組が改組され、消火機材に腕用ポンプを導入した。
- 昭和10年 4月 寄付等で運営されていた消防組に村費より初の補助があり、新たに腕用ポンプ及びホース、布製タンク、布製バケツ等を購入した。

## 公設消防時代

- 昭和12年 2月 議会で広島村消防組の設置が決定され、東部地区に第1分団、西部地区に第2分団を配置した。
- 昭和14年 4月 戦時態勢により消防組と防護団が併合され広島村警防団を設置し、火防の他、灯火管制、警報を任務とした。
- 昭和22年 7月 終戦により広島村警防団が解散し、新たに広島村消防団を設置した。
- 昭和24年 3月 初の消防ポンプ自動車（三輪車）が導入され第1分団に配置した。また、腕用ポンプは第2分団に配置した。
- 昭和27年12月 広島63番地に第1分団の総合的な消防会館が竣工し、機材置場及び管理人住宅を併置した。
- 昭和28年 2月 ポンプ自動車（四輪車）を第1分団に配置し、三輪自動車は廃車。
- 昭和32年 2月 可搬動力ポンプを第2分団に配置した。
- 昭和33年 2月 可搬動力ポンプを第1分団に配置した。
- 昭和34年 3月 第2分団にポンプ運搬用の三輪自動車を配置した。
- 昭和40年 8月 第2分団の機材置場を改築し、四輪ポンプ自動車を配置した。
- 昭和43年 1月 大曲地区の発展に伴い第3分団を配置した。
- 昭和49年 4月 西の里地区の発展に伴い第4分団を配置した。

## 近代消防時代

- 昭和49年 4月 町の発展に伴い広島町消防本部及び消防署が、政令による常備体制の指定に基づき発足した。
- 昭和49年12月 消防庁舎が現在の北進町1丁目に竣工した。
- 昭和50年 8月 署に救急車を配置し救急業務を開始した。（車両は北海道共済連より寄贈された）
- 昭和52年 3月 署に小型動力ポンプ付水槽車（水槽容量10t）を配置した。（防衛施設庁の補助による）
- 昭和52年 7月 町内の医療施設により内科、小児科の夜間休日の当番医療体制が開始され救急医療体制が充実した。
- 昭和52年12月 署にはしご付き消防ポンプ自動車（30m級）を配置した。
- 昭和54年 8月 北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当町（広葉中学校）で開催した。

昭和54年10月	道央自動車道の札幌南インターチェンジと北広島インターチェンジの開通により、第3分団詰所に職員3名を常駐車1台を配置した。
昭和55年12月	大曲地区の発展に伴い、消防署大曲出張所を開設（第3分団詰所併置）し職員11名と水槽付ポンプ自動車、救急車、ポンプ自動車（第3分団）を再配置した。
昭和56年4月	夜間急病センターが開設（診療科目は内科、小児科）された。
昭和56年6月	予防業務の拡充に伴い、本部に広報車を導入した。
昭和57年9月	無線電話の基地局を富ヶ岡（北広島リハビリセンター）から大曲（大曲出張所）に移設した。
昭和57年10月	消防指令装置（Ⅰ型）を導入した。
昭和58年7月	全道消防救助技術訓練指導会に初参加した。
昭和58年8月	消防無線電話装置に全国共通波を増設した。（基地局は、消防本部に配置した）
昭和62年7月	消防署の機構改革により副署長を配置した。
平成2年3月	消防署に救助工作車を配置した。
平成2年10月	消防署の気象観測装置を更新した。
平成4年8月	無線サイレン吹鳴装置を更新した。
平成5年4月	在宅当番医の自動案内装置が導入され、運用を開始した。
平成5年6月	消防無線電話装置基地局（全国共通波）を更新した。
平成5年12月	西の里地区の人口増加に伴い、消防署西の里出張所を開設（第4分団詰所併設）し、水槽付ポンプ自動車を配置した。
平成6年5月	救急救命士第1号が誕生する。
平成6年11月	救急車2台に患者監視装置が装備され、応急処置拡大9項目中7項目の実施体制となる。（心電図電送を除く）
平成8年6月	消防団に初めて女性消防団員10名を採用した。
平成8年8月	全国消防救助技術大会（札幌市）に初参加した。
平成8年9月	市制施行に伴い、北広島市消防本部及び消防署と名称変更した。
平成8年10月	消防職員委員会が発足した。
平成13年3月	第1分団詰所を改築した。
平成13年7月	消防署の水槽付消防ポンプ自動車を化学消防ポンプ自動車に更新はしご付消防自動車（38m級）を更新した。
平成13年8月	札幌圏防災関係機関合同訓練を実施した。（大曲工業団地）
平成14年3月	消防本部・消防署の増築庁舎が完成した。
平成14年6月	北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当市で開催した。
平成15年3月	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）を導入、運用を開始した。
平成15年11月	大曲出張所の救急車を高規格救急車に更新した。
平成17年12月	本署の高規格救急車を更新した。
平成19年4月	非常時の災害復旧の拠点として北広島市防災センターが共栄586-10に設置された。
平成20年3月	本部の広報車を調査車として更新した。
平成21年3月	本署の救助工作車を更新した。

平成23年	3月	本部の指揮車を更新し、使用していた車両を連絡車として運用を開始した。	
平成23年	10月	大曲出張所の高規格救急車を更新した。	
平成24年	3月	本部に資機材搬送車を導入し、小型ポンプ付水槽車を更新した。	
平成25年	2月	大曲出張所の水槽付消防ポンプ自動車を本市初のC A F S装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。	
平成26年	1月	本署の高規格救急車を更新した。	
平成26年	3月	消防救急デジタル無線を石狩振興局管内の6消防本部で共同整備し、運用を開始した。	
平成26年	3月	高機能消防指令システム（離島型）を更新整備し、運用を開始した。	
平成26年	8月	大曲地区の人口増加や大型商業施設の進出に伴い、大曲出張所（第3分団詰所併設）を移転し運用を開始した。	
平成27年	2月	西の里出張所の水槽付消防ポンプ自動車をC A F S装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。	
平成27年	12月	第3分団の消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。	
平成28年	4月	公益財団法人北海道消防協会札幌地方支部内消防団相互応援協定を締結した。	
平成28年	11月	北海道消防表彰に於いて優良消防団表彰旗を受章した。	
平成28年	12月	第1分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。	
平成29年	12月	第4分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。	
平成30年	3月	消防功労者消防庁長官表彰に於いて表彰旗を受章した。	
平成30年	11月	第2分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。	
平成31年	2月	大曲出張所の高規格救急車を更新した。	
平成31年	4月	消防本部に初めて女性職員を採用した。	
令和	元年	6月	夜間急病センターが移設した。
令和	2年	4月	消防本部に2人目の女性職員を採用した。
令和	3年	10月	高規格救急車の寄贈を受け、本署の救急車を更新した。
令和	4年	4月	消防本部に3人目、4人目となる女性職員を採用した。
令和	4年	5月	2台目となる高規格救急車の寄贈を受け、大曲の救急車を更新した。
令和	5年	2月	3台目となる高規格救急車の寄贈を受け、本署の救急車を更新した。
令和	5年	12月	指揮車の寄贈を受け、本署の指揮車を更新した。

#### 協力団体関係

昭和59年	1月	大曲地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和59年	5月	広島町防火委員会を結成した。
昭和59年	9月	東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島大谷幼稚園）
昭和60年	7月	大曲地区に幼年消防クラブを結成した。（大曲大谷幼稚園）
昭和60年	10月	東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島幼稚園）

昭和60年12月	ひろしま少年消防クラブを結成した。
昭和61年3月	東部地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和62年10月	西の里地区に幼年消防クラブを結成した。(西の里きらきら保育園)
昭和63年5月	広島町危険物安全協会を設立した。
平成元年10月	日本防火協会より幼年消防クラブ(広島大谷幼稚園)に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成4年2月	東部地区に幼年消防クラブを結成した。(天使幼稚園)
平成4年10月	日本防火協会より幼年消防クラブ(大曲大谷幼稚園)に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成5年9月	第11回婦人防火全国大会(夕張市)に2婦人防火団体が出席した。
平成10年5月	北広島市危険物安全協会創立10周年
平成11年5月	輪厚地区に幼年消防クラブを結成した。(輪厚保育園)
平成20年5月	北広島市危険物安全協会創立20周年
平成22年9月	北海道・東北ブロック婦人(女性)防火クラブ連絡協議会に出席した。(2名)
平成24年6月	西の里地区に婦人防火クラブを結成した。
平成28年11月	北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。(北広島かおり幼稚園)
平成29年10月	北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。(認定こども園北広島わかば幼稚園)
平成30年5月	北広島市危険物安全協会創立30周年
令和元年10月	石屋製菓株式会社より幼年消防クラブに法被100着が寄贈された。
令和2年3月	西の里地区に幼年消防クラブを結成した。(認定こども園札幌自由の森幼稚園・保育園)

## 過去の主な災害記録

明治31年	9月7日	中の沢に水害が発生した。
大正3年	8月～9月	中の沢地区に水害が発生し、水10尺余、被害面積300町歩余、被害総額3,434千円。
昭和14年	4月	児童福祉施設天使の園が全焼197坪を焼失した。原因は失火。
昭和15年	4月24日	広島市街の大火。16戸28棟焼失し近隣の消防の応援を受けた。原因は不明。
昭和21年	4月	中の沢地区に水害が発生した。604町歩が冠水し、被害総額6,030千円。
昭和23年	4月7日	吉本宅及び杉山宅の2戸1棟が全焼し、22.5坪が焼失した。
昭和25年	8月1日 ～3日	開村以来の水害。降雨量300mmを超え、広島市街及び中の沢地区にかけ被害が発生し、家屋流失、半壊13棟等で被害総額31,877千円。
昭和27年	7月2日	富ヶ岡学園の寮舎454坪のうち210坪が焼失した。恵庭・島松消防、警察予備隊の応援を受けた。
昭和29年	9月26日	台風15号で死者1名、建物全半壊340棟、農林等被害総額66,300千円。
昭和30年	12月	光顕寺本堂100坪が全焼した。原因はロウソク。
昭和34年	9月	中の沢地区と各河川流域で水害が発生した。被害面積500町歩、特に土木農林施設に被害が多く、被害総額は9,037千円。
昭和37年	8月	台風第9号及び第10号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和39年	6月	集中豪雨により中の沢地区が冠水した。
昭和40年	9月	台風第23号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和43年	5月	十勝沖地震により全村に被害があり、特に集合煙突の倒壊が目立った。震度は4.5から5と推定される。
昭和50年	8月22日 ～23日	台風第6号の影響により水害が発生し、輪厚川及び千歳川が氾濫した。被害面積506ヘクタール、被害総額192,229千円。
昭和56年	8月3日 ～23日	約3週間に渡り、台風第15号及び第23号の影響と雨の影響で島松川及び輪厚川の堤防が決壊した。
昭和59年	6月2日	大曲にある病院の職員送迎バスが野津幌川に転落し、看護婦ら36名が重軽症を負った。
昭和62年	8月25日 ～26日	台風第12号の影響で豪雨(298mm)があり、土木及び農業施設に被害が発生した。被害総額162,133千円。
平成2年	10月7日	町立の中学校で火災が発生し、校舎137平方メートルが焼失した。被害総額21,100千円。

- 平成 3年 8月 9日 南の里酪農家の牧草収納庫から出火、牛舎、物置等4棟が全焼した。被害総額53,062千円。
- 平成 5年 9月13日 大曲工業団地で倉庫の全焼火災があり、鎮火まで約10時間を要した。被害総額420,150千円。
- 平成16年 9月 8日 台風第18号の影響により突風で飛ばされるなど4名の市民が重軽症を負う。また野菜の倒伏、街路樹の倒木等の被害が発生した。被害総額140,247千円。
- 平成30年 9月 5日 台風第21号の影響による倒木撤去作業中に2名の市職員が重軽症を負う。また、屋根の飛散、物置の倒壊、街路樹の倒木等の被害が発生した。
- 平成30年 9月 6日 北海道胆振東部地震により、市内において震度5弱を観測、7名の市民が重軽症を負う。また、市内全域で停電が発生、住家被害は293棟に及んだ。
- 令和 4年 9月30日 東部地区にある共同住宅の火災により、男女2名が死亡した。